

神奈川支部展 支部長 鈴木忠義

今年も関東地区のトップを切つて四月二日(火)〜四月七日(日)までの六日間アートガーデンかわさきで開催した。(絵画三十七点、陶芸八点を展示)今回は天候に祟られた。搬入日が大雨で、搬出日前日六日が台風並みの爆弾低気圧の影響で風雨激しく、搬出日は前日の影響が残り強風であった。

各支部でも同様と思うが、新しいメンバーに支部に入ってもらい、本展に一人でも多く応募して立派な三十七回展にすべく、今回神奈川支部では新しいメンバー三名を加え賑やかな支部展になった。外部審査員の芳賀先生をお呼びしたのは最終日前日の風雨激しい悪天候であったが、時間前にお見えになり全員に丁寧な画評をして頂いた。



それぞれに交流を深め、今後の制作の勉強の機会となり、新人だけでなく、従来の会員にとつても支部展が今までに増してそれぞれ有益で、大いに楽しい時間であった。 兎にも角にも悪条件の支部展であったが、新メンバーが、知人友人を多数会場に連れて来てくれたお陰もあり盛会裡に終了した。

他支部の委員、会員の方々にも初日から会場にお越し頂き、支部展を楽しまれた。この場をお借りして、ご多忙中、遠路より当支部展へのご来場に対し、心よりお礼を申し上げます。

作品は年々レベルが高くなり、力作が多く素晴らしいとの来場者からのお褒めの言葉を頂いた。皆様から頂いたご指導、ご鞭撻を糧に、支部会員全員、来年以降も更に精進したい。

シリーズ画家伝 大石 亨 クレー 線から色彩へ・色彩から線へ

パウルクレーは一八七九年十二月十八日、スイスの首都ベルンに生まれた。父ハンス・クレーはドイツ国籍の音楽教師、母イータは声楽家。クレーは幼少より母方の祖母から絵の手ほどきを受けた。

二十歳の時、ミュンヘン美術学校に入学したものの一年で学校をやめ、級友とイタリア旅行に出発。ナポリで初めて水族館に行き海中生物の奇妙な形や神秘性に感動。また各地でルネサンスやバロック芸術を見聞してベルンに戻り、裸体画教室、解剖学教室でデッサンに励んだ。また銅版画制作に取り組んだ。

二十五歳の時、初のパリ旅行に出かけ、帰国後ガラス絵を始めた。翌年ミュンヘンに戻りリリーと結婚。翌年息子誕生。生活はリリーのピアノ教師での収入で賄われ、クレーは絵の制作に励んだ。

油絵や黒い水彩に用いた明暗表現、絵面の骨格、線の意味を探究した。また初めての個展をベルンの美術館で開催した。

三十歳の時、チュニジア旅行に出発。イスラムの文化に触れ北アフリカに魅了され水彩画を描いた。この年の八月(一九一四)、第一次世界大戦勃発。クレーはドイツ軍兵士として召集、三年後兵役解除されてミュンヘンにアトリエを借り油絵の制作を開始した。他方、パウハウスに招聘された。またエジプト、イタリア旅行に出かけ帰国後、ナイルの風景やエジプト文化に想を得て彩色画を数多く描いた。

五十一歳の時、パウハウスを退職、デュッセルドルフ美術学校教授に就任したもののヒットラーのドイツ帝国首相就任に伴い、頹廢的画家として美術学校を追われベルンに亡命。 亡命後、体調を崩した。クレーはなおも精神的に制作を続ける。この年の総制作数は何と一、二二四点上る。悪化する病状の中で尚制作を続行。一九四〇年六月九日死去享年六十歳。

「芸術とは目に見える物の再現ではなく、見えるようにすることである」(クレーの日記)

ケスッチ会の実施報告と次回予定

事業部 一柳 幸

神田明神 2013-1-23(水)

天気は良いのだが、なにしろ寒い。そのせいか出足は芳しくなく参加者僅かに3名だった。神田明神の本殿、神門、社務所、の建物はその色、赤、金、そして屋根瓦の緑、と絢爛である。「風冷えて 巫女の袴の 赤揺らせ」といった風情も見えて神域でのスケッチしばし筆をすすめた次第。終われば画談に花を咲かせるべく門前の“明神蕎麦”で一献というわけでした。

国会庭園 2013-3-13(水)

西洋庭園と日本庭園と二つあって国会庭園としていい雰囲気にある。つまり皇居、霞ヶ関、永田町といった周辺は、東京という都会の中でここだけが持つ格調の様な雰囲気があるのだ。これは絵描きにとって絵心をくすぐるものがある。

憲政会館のレストラン前でスケッチした。早々と桜が咲き始めていた。「春一番散らすな 震える三分咲き」と風が強かったので描くのには苦労した。

銀座歩行者天国 2013-2-17(日)

天気晴朗なれどもまことに寒い一日でした。銀座通りは12時より車両ストップ、道路中央には付近の店より椅子テーブルのサービスで休憩できるので、スケッチには重宝する。クロッキー並みに人物を早描きしたが、寒くて閉口した。「日脚伸び 黒モモヒキの女たち」といった風俗も面白いが、女の魅力には疑問を感じて、あまり描きたいとは思わない。

筆を置いてからニュートウキョウ「相模」で一献。画談に華が咲いた。



支部展情報

- 千葉支部展 4月9日〜14日 JR我孫子駅南口 けやきプラザ 2F 連絡先:小宮山修 04-7191-8034
- 東京支部展(第32回)5月5日〜10日 文京シビックセンター1Fアートサロン 連絡先:永野 信 03-3421-1680
- 埼玉西支部展(第36回)5月21日〜26日 川越市立美術館 1F市民ギャラリー 連絡先:千木良宣行 080-1034-4830
- 東京東支部展(第14回)6月4日〜10日 東京葛飾シブフォーニーヒルズ 2Fギャラリー 連絡先:土屋政夫 03-3628-2518
- 新日美選抜小品展 9月8日〜14日 有楽町交通会館 2Fギャラリーシルバー 連絡先:陳俱子 045-503-5199

次回予定

当日7時の天気予報で降水確率50%を超える場合中止します。

- 2013-4-7 (日)駒込染井の桜 JR山の手線巣鴨駅改札口十時集合
- 2013-5-13(月)五島美術館 東急大井町線上野毛駅改札口10時集合
- 2013-6-17(月)目黒不動尊 目黒不動尊山門前10時集合 JR五反田駅西口より東急バス渋谷駅行き乗車、目黒不動尊下車徒歩約45秒